

出願のきっかけ

中学の頃より英語の学習が好きで、海外経験もあったことから大学生のうちに留学に行きたいという思いがありました。しかし大学に通いながら留学をするというのは金銭的にも非常に負担のかかることで諦めていましたが、東京都立大学のグローバル人材育成入試を知り、思い切って受験しました。入学後の印象海外経験のある人や海外からの留学生も非常に多く、授業などで科されるレポートやディスカッションの課題に対して各個人がとても高いレベルで乗り越えているのを見て刺激を受けていました。

授業の感想

授業が英語で開講されるので最初は不安に感じていましたが、案外すぐに慣れることができました。主専攻と並行しての授業のため、課題の量が多いと感じることはありませんでした。

将来の希望

現在就職活動中でIT系の企業を中心にエントリーしています。勉強のほかに音楽活動にも没頭しており、マッコーリー大学への留学時にも、音楽を通じて他の人にはできない豊かな経験ができました。都立大や留学先で学んだことを活かして、ITの領域と音楽を両立した自分らしい生き方を模索していきたいと思えます。

受験生に向けてのメッセージ

大学に入ると高校生の頃には想像の付かなかったようなことがたくさん待っています。本当に自分のやりたいこと、好きなこと、そうしたことを探するのにたくさんの時間を使う最後の期間が大学生活かもしれません。皆さんが挑戦する留学という機会も、ただ海外に行くだけでは意味がありません。好きなこと・やりたいことを探し、新しい道を突き進むために、国際副専攻での経験を存分に活かしてください。



出願のきっかけ

高校まで文系で、理系で観光を学びたかったのでグローバル人材育成入試を利用して入学しました。世界各国の観光事情を見てみたいという思いもあったので、留学にあたり経済支援を受けられるのも魅力的でした。

入学後の印象

帰国子女、海外留学経験者がたくさんいる同級生とのレベルの差に愕然としました。ですが、そこでなんとか追いつきたいと燃えた部分もあります。国際副専攻を履修しているからこそ、主専攻の友人からは得られない視点での意見をもらえるのもよかったです。

授業の感想

授業は基本英語なので耳が慣れるまでは大変でした。また、主専攻の授業に影響が出ないように授業が配置されているのは嬉しかったです。

留学生活を経て

台湾の国立東華大学に半年留学しました。中国語は挨拶程度しか出来ませんでしたが留学してみると意外と上達してHSK3級に合格しました。自分を追い込んで語学力をあげたい方には留学はおすすめです。台湾で中国語を学んで、友達をたくさん作りたと思っていましたが、いざ行ってみると日本語がペラペラな人も多くびっくりしました。

将来の希望

現在、就職活動中です。日本の観光の発展に寄与できる道を目指しています。

受験生に向けてのメッセージ

英語が得意なら、ぜひこの入試に挑戦してください。主専攻に加えて26単位を取らなくてはいけないので大変なことも多いですが、それ以上に得られるものはとても大きいと思います。



修了生の進路状況

- 就職先/アマゾンジャパン合同会社、JCB、Twitter Japan、楽天グループ、NTTファシリティーズ、ワールドインテック、IHIインフラシステム、NTTデータ、トランスコスモス、バンダイナムコフィルムワークス、伊藤忠プラスチックス、NTTドコモ、K&Oエナジーグループ など
- 大学院(進学先 大学院) 進学先/Lund University(スウェーデン)、清華大学(中国)、東京都立大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学

2025年度 グローバル人材育成入試(総合型選抜)募集概要(予告)

※グローバル人材育成入試を経て入学した学生は、「国際副専攻コース」を履修します。入試に係る最新の情報は大学公式HPでご確認ください。

募集人員

人文社会学部	経済経営学部	都市環境学部	システムデザイン学部
人間社会学科 2名	経済経営学科 5名	地理環境学科 1~2名	環境応用化学科 1名
人文学科 2名		都市基盤環境学科 2名	情報科学科 若干名
		建築学科 2名	観光科学科 2名
			都市政策科学科 若干名

出願要件

- 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2024年3月卒業見込みの者又は2025年4月以降に卒業した者
- 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの
 - ・ケンブリッジ英語検定 160以上(※1)
 - ・実用英語技能検定 準1級 2300以上、1級 2304以上(※2)
 - ・GTEC(Advanced, CBT) 1180以上(※3)
 - ・IELTS 5.5以上(※4)
 - ・TEAP 309以上
 - ・TEAP CBT 600以上
 - ・TOEFL iBT 72以上
 - ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560以上(※5)

【注】スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。
 (※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiencyとする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。(※2)実用英語技能検定は、指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。(※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。(※4)IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。(※5)TOEIC L&R/TOEIC S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算する。

- 合格した場合、本学への入学を確約できる者
- その他、応募する学科によっては本学の定める基準を満たす学習成績の状況であることを条件とする。
(詳しくは「2025年度グローバル人材育成入試募集要項」をご覧ください)

選抜方法

- 人文社会学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文(日本語による解答)、面接(口頭試問を含む。)及び大学入学共通テストの成績により選考を行う。(受験科目は前期日程試験と同一)
- 経済経営学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文(英語による解答)及び面接(口頭試問を含む。)により選考を行う。
※合否判定には影響がないが、入学後の学業の参考のため、大学入学共通テストの受験を課す。(受験科目は前期日程試験と同一)
- 都市環境学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文及び面接(口頭試問を含む。)により選考を行う。
※環境応用化学科及び都市政策科学科は合否判定には影響しないが、入学後の学業の参考のため、大学入学共通テストの受験を課す。(受験科目は前期日程試験と同一)
- システムデザイン学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 面接及び大学入学共通テストの成績により選考を行う。(受験科目は「数学I・数学A」及び「数学II・数学B・数学C」、「理科※」(「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択及び「情報」(「情報I」)とする。)
※第1解答科目を採用する。

東京都立大学 国際副専攻

グローバル人材育成入試

総合型選抜のご案内

今、本当に必要なグローバル人材ってどんな人?

詳細は中面へ **CHECK IT!**

お問い合わせ **東京都立大学**
 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
 電話 **042-677-1111**(代表)
 グローバル人材育成入試については、東京都立大学アドミッション・センター(入試課)まで、国際副専攻については国際課までご連絡ください。

もっと詳しく知りたい方はWEBサイトをご覧ください。
 詳しいカリキュラム、授業内容、在学生のインタビューなどを掲載しています。
 東京都立大学 国際副専攻 検索
<https://www.mip.ic.tmu.ac.jp/>

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学
 2024年5月発行
 発行 東京都立大学 印刷 ニッセイエプロ株式会社

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学

それは、高度な専門知識をもつグローバルリーダー

国際副専攻コースは、主専攻と並行して履修を進める点に特色があります。たとえ英語が流暢でも、伝える内容がなければ日常会話の域を出ません。逆にどんなに高い専門性を有しても、それを発信するツールを持たなければグローバルに活躍することは困難でしょう。本学では、主専攻で自身の核となる専門知識やスキルをしっかりと身につけ、国際

副専攻コースで高度な語学力やコミュニケーション能力、国際感覚を培うことにより、世界で活躍する人材を育成します。さらに必修である海外留学を通して多様な文化や価値観に触れ、より広くグローバルな視野を獲得できるでしょう。あなたもぜひ、国際社会を担うグローバルリーダーを目指してみませんか。

ABOUT 国際副専攻とは？

通常の学生と同様の主専攻科目の履修と並行して、海外留学が必修のカリキュラム「国際副専攻」の科目を履修し、主専攻の専門知識に加えて、確かなコミュニケーション力や、多様な文化に適応可能な実行力を身につけます。

将来、主専攻で学んだ専門知識を武器に、多様な人材の中でリーダーシップを発揮できるグローバルリーダーをめざす、積極的なみなさんの応募をお待ちしています。

※これまで、「グローバル人材育成入試」を経て入学した学生のみが、「国際副専攻コース」を履修していましたが、入試区分（編入学試験を除く）に寄らず、優れた英語力のある学生も、国際副専攻コースを履修することを可能とする予定です。詳細は、大学公式HPをご確認ください。

国際副専攻3つの特徴

- 主専攻で学んだ専門知識を武器に、多様な人材の中でもリーダーシップを発揮できるグローバルリーダーを育成
- 少人数教育と国際副専攻アドバイザーによる充実した留学サポート
- 1学期間または1年間の留学による単位修得が必須

国際副専攻科目（一部抜粋）

留学前 / 国際副専攻を学修するための基礎力と留学に必要な英語力を養成する	
Foundation Seminar	国際副専攻を学修する上で基礎となる授業。異文化に対する理解やコミュニケーション力の向上を目指す。
English for Studying Abroad	海外留学の準備のための総合的な英語学習を行う。
English for Academic Purposes	English for Studying Abroadの学習成果をふまえ、海外留学の準備のための総合的な英語学習を行う。
Academic Writing Skills I	英文によるライティングスキルの基礎力の向上を目指す。
Academic Writing Skills II	Academic Writing Skills Iの学習成果をふまえ、英語による実践的なレポートや論文の執筆方法を学ぶ。
Globalization and Japan	日本とグローバル化に関する事象を多角的視点から理解し、分析のための知識や理論を習得する。

留学中 / 海外留学先大学等における授業科目を履修する	
海外留学認定科目	海外の大学へ留学し、単位を修得（必須）する。

留学後 / 国際副専攻の学修を専門教育やキャリア形成に発展させる力を養成する	
Advanced Seminar	海外留学による学修の成果を発表する。
Advanced Academic Writing	英語による学術論文の執筆について学ぶ。

※留学前または留学後

Academic Discussion Skills	人文・社会科学、自然科学の各分野で重要な多様なテーマについて、議論、口頭発表などの演習を行う。
----------------------------	---

STUDY ABROAD 海外留学

海外の大学で単位を修得すること、その経験があなたを育てます。

国際副専攻では、主専攻科目を履修しながら1学期間または1年間留学し、海外の大学で単位を修得する必要があります。海外の大学で単位を修得することは容易なことではありません。授業のスピードの速さ、膨大な課題に加え、日本人には自分の知らないことを英語で学ぶハンディキャップがあります。しかし、その修羅場を乗り切ってこそ、タフネスさを磨き、多様性に対する許容度と対応力を身に付けることができます。

海外留学の魅力

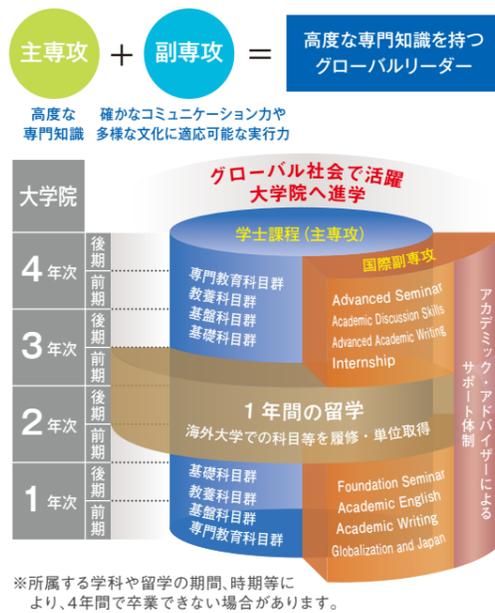
■ 多様な協定校から留学先が選べる

アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、オランダ、オーストリア、フィンランド、スウェーデン、ポーランド、ノルウェー、ハンガリー、ロシア、リトアニア、トルコ、オーストラリア、韓国、中国、台湾、タイ、マレーシア、インドネシア など
※その他、自ら留学先の大学を選んで留学する制度もあります。（ただし、事前に学内で認められる必要があります。）

■ 留学にかかる各種経済支援制度があり安心して留学できる

- ・国際副専攻を履修しても本学授業料の追加はありません。
- ・交換留学の場合、留学先の授業料は免除されます。
- ・月額給付奨学金、渡航費の支援があります。
- （例）月額奨学金は「6～10万円」（派遣地域によって異なる）
渡航費：アジア地域→上限が15万円、アジア地域以外→上限25万円

- ・在学5年目授業料免除
- ・交換留学によらない派遣留学の留学先授業料支援
- ※経済支援を受けるには一定の条件等があります
- ※詳細はホームページをご覧ください



※所属する学科や留学の期間、時期等により、4年間で卒業できない場合があります。

Voice from Students 学生インタビュー

※2024年4月に実施したものです。

■ インタビュー参加学生（2023年入学）

- ビートン 愛美 (Ami) (経済経営学部経済経営学科)
- 神田 エレナ (Erena) (人文社会学部人間社会学科)
- モウルド 心温 (Sean) (都市環境学部観光科学科)
- 山田 晃大 (Kodai) (都市環境学部建築学科)

Q グローバル人材育成入試に出願したきっかけは？

Ami: 留学に行きたいからというのが一番大きかったのですが、得意な英語を使って大学を受験したかったことと、いろいろな背景を持った人たちに出会えるかな、と思いい出願しました。

Erena: 私も小さい頃から留学したいと思っていて、高1の頃から留学の体制が充実している大学をずっと探している中で、国際副専攻が自分の理想にぴったりだったのですぐに決めました。

Kodai: 私は専攻の建築ともう一つ、なにか違うことを一緒に同時並行で勉強したかったのと、海外で一回インターンシップもやってみたかったので、英語を使用して建築学科に入れる入試方式を探していました。建築学

Q 授業を受けてみての感想を聞かせてください

Ami: 先生たちが色々な研究をしていて、幅広い研究分野に触れる授業も多く、結構面白くて自分の関心のある分野にさらに興味も湧いてきて楽しいなと思いました。

Kodai: 副専攻の授業ではグループプレゼンテーションなどをする時に、自分たちで好きなテーマを決められるのがいいです。今、自分が一番関心のある分野について調べる機会って、普段の授業ではなかなかないから。

Sean: 高校時代はたぶん高校が一番英語ができるという自負があったの

Q 留学に期待すること、またその成果について

Ami: 私は主専攻と関連する自分の趣味に近いことを勉強しようと思いい留学先を探しているの、それが楽しみです。その留学先で勉強した自分が一番関心のある分野と都立大で勉強した専攻分野を関連させて将来の職業選択につなげられたらなと思います。それと今は実家暮らしをしているのですが、全く違う環境に一人で置かれた状態で一年の間にどのように自立できるのかというのが留学で楽しみなところですね。

Erena: 私は社会学を専攻しているのですが、留学先では国際関係学を学びたいと思っています。その分野は海外の方が最先端ということもあるし、留学に行くことによって、それまでの自分の専攻や興味の方向性が変わる可能性があるのも楽しみです。留学は自分のコンフォートゾーンを出るので、そこしかできない経験ができるだろうなと思っています。

Kodai: 過去にドイツに住んだことがあるのですが、建築学科の学生の一

Q 国際副専攻コースでの学びを、将来どのように生かしていきたいと考えていますか？

Kodai: 国際副専攻では自分の専攻と違う分野についても留学先で学べるので、社会に出た時も、英語とか言語力だけでなく、専攻とその他の幅広い分野について海外で学んできたことが強みになるんじゃないかなと思います。

Ami: 留学先では都立大で勉強している経済系とは少し違うことをやりたいと思っているので、その留学先で勉強した分野と、都立大で勉強した専

Q 受験生の皆さんへのメッセージ

Kodai: 日本の教育は、多くは一方的に先生が授業を実施して学生がそれを吸収する、っていう感じだと思うんですが、国際副専攻に入ると学生自身の主体性が必要になってきます。はじめは難しくても、国際副専攻に入った時に奥手だった人がかなり積極的になっていったりするし、新たな自分として今までは違う自分になれる楽しさを感じられる大学生活を期待できると思います。

Sean: 高校までは自分から英語で話す機会や主体的に英語を使う機会が少なかったの、授業外で積極的に英語を使うことに慣れた方がいいと思います。入学後もその英語力は活かせるし、入試の1年前くらいからスピーキングをする場面を増やせたらいいんじゃないかな。英語の先生に自分から話に行くとか、自分なりの方法で積極性と話す力を上げていくのがいいと思います。

Ami: 国際副専攻では学部の履修項目に追加して授業を履修しないとい



（聞き手：国際センター准教授 嶋内 佐絵）

科のグローバル人材入試は、英語と数学の実力、あとは面接で採点されるので、これまで海外に住んでいた時期が長かった自分にとって入試方式が自分に合っていると思って出願しました。
Sean: 自分は大学選びのタイミングでいろいろ重視していたことがあったのですが、地方に住んでいたの、東京に行ってみようというのもあったし、旅行が好きだから観光学が学べるのも、公立大学で金銭的に安いのも魅力的でした。英語の四技能の中で話すのが一番得意だったので、それを面接で評価してもらえる入試があるのも自分に有利だなと思って。

ですが、実際に国際副専攻に入ったら日本語のみの環境で育った人でも英語が流暢に喋れたり、ボキャブラリーが多い人がたくさんいて、そういう環境の中でディスカッションしたりするのがいい刺激になっています。自分が今まで関わってこなかったような英語の使い方を学ぶことができて、オールイングリッシュで勉強できるところはすごいと思います。都立大の中でもこういう学びができるのは国際副専攻だけかなと思うので、それが魅力的ですよな。

人として、海外で見て学んだことや体験を日本で伝えられたらいいと思います。また、そういった場所を日本に作りたくて考えていますし、海外で得た違う視点を日本にも持ってきてみたいです。日本ももちろんいい街ですが、建築学科の学生として他の街の魅力も伝えていきたいなって思います。
Sean: 自分は海外に長く住んだ経験がないのですが、テレビドラマで見た海外のスクールライフや日常生活を実際に一人で海外に行き行って授業を受けたり生活できることがまず一番の楽しみです。慣れない所で慣れないことをしたり、新しいことに挑戦するとか好きなので、新しい環境で授業に集中できるのか、友達が作れるのか、自分の英語力を含め、自分の力試しがしたいです。あと自分は観光が主専攻なので、実際に海外に行ってみて現地ですごい動きが起きているのかを肌身で感じたり、旅行しながら現地の観光客の様子を観察していきたいと思っています。

攻を関連させて、将来の職業選択につなげられたらなと思っています。
Sean: 国際副専攻での高レベルな環境で学習する中で、自分もたとえばライティングのスキルがだいぶ高くなったので、社会に出た時も英語で対応する場面で活かせると思います。留学先で学んだことや、自分とは違う考え方を自分のものにして日本でも活かせるようになったら、色々な人の国際交流がスムーズになるんじゃないかなと思います。

けないので大変な部分もあるけど、その分濃厚な大学生活になるし、多様なバックグラウンドを持った人や、色々な視点を持つ友達ができるのが面白いです。
Erena: 入試対策としてだけではなくて、入学してから明確な目的を持つことが大事だなと思っています。将来に関しても、企業が留学経験者に期待するのは留学に行ったという経歴ではなく、どんな目的を持って留学をして、どんな風に成長したのかということだと思うので、留学が必須のところに来るなら入試前から目的や目標を持つことが大事だなと思いました。
Sean: 国際副専攻は比較的少人数で、週に何回も会うので、みんなめちゃくちゃ仲良くなっています。夏休みに一緒に遊びに行ったり、学外で一緒にご飯行ったり、本当仲良くできる人たちと一緒にいられるので、個人的には国際副専攻に入れて本当に嬉しいです。国際副専攻に入ると楽しいよ!